

いて、悲しいことに日本でも海外でも、数値は減少傾向にあり、若者留学をする者の人数は2004年のピークに比べて約半数にまで落ちこんでいる。日本での博士課程の研究生活は、生が魅力を感じないことが少なくない。しかしだからといって研究を棄し、私生活の中で研究を楽しむことで、一歩容を見守ることで、一歩研究をする仲間を少しでも増やしていきたい。(タンフォード大学 和田真孝 94回)